

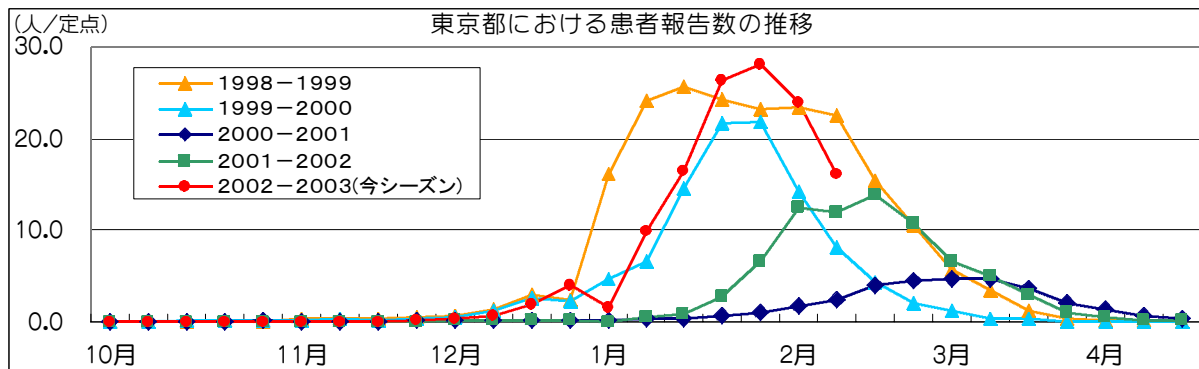
# 東京都 インフルエンザ情報

東京都立衛生研究所

## 内 容

流行状況:患者発生状況/公立学校の学級閉鎖状況/東京都内・全国の検査情報  
香港でのA(H5N1)型インフルエンザの検出

## 流行状況



### 1 患者発生状況

第7週(2月10日~2月16日)のインフルエンザ患者報告数は東京都で2,871人(定点当たり16.13人)と減少しています。(上グラフ参照)全国でも96,407人(定点当たり20.41人)と先週に引き続き減少しました。報告数は減少していますが、今シーズンはA香港型及びB型の2種類が流行しており、2回インフルエンザにかかる可能性もあります。既にイン

フルエンザにかかった人も予防等ご注意ください。

### 2 東京都公立学校の学級閉鎖状況

2月20日までに54の区市町で学級閉鎖がありました。2月20日時点で学級閉鎖がないのは、檜原村及び島しょ地区の7村です。

### 香港でのA(H5N1)型インフルエンザの検出

20日のWHOのレポートによると香港で1家族2名から、「トリのインフルエンザ」と呼ばれるA(H5N1)型インフルエンザウイルスが検出されました。この家族は1月~2月に中国・福建省に旅行しています。

A(H5N1)型は33歳の父親と9歳の息子から検出されており、この父親と8歳の娘が死亡しています。9歳の息子と母親の病状は回復しました。

A(H5N1)型は1997年にやはり香港で検出され、18名の患者が発生し6名が死亡しました。現在のところこの家族以外からの検出報告はありません。また、香港でのインフルエンザ報告数の異常な増加は認められていません。

注: Aソ連型はA(H1N1)型、A香港型はA(H3N2)型であり、A(H5N1)型は異なるタイプのウイルスです。

### 3 東京都内の検査情報

定点医療機関からの検出状況					
週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			Aソ連	A香港	B
52週以前(-12/29)	253	19	0	15	4
1週(12/30-1/5)	16	7	0	7	0
2週(1/6-1/12)	42	13	0	13	0
3週(1/13-1/19)	50	18	0	17	1
4週(1/20-1/26)	44	19	0	15	4
5週(1/27-2/2)	37	23	0	16	7
6週(2/3-2/9)	43	21	0	11	10
7週(2/10-2/16)	30	15	0	5	10
計	515	135	0	99	36

集団発生からの検出状況						
搬入日および検査集団数	患者数	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
				Aソ連	A香港	B
12月2日～18日 14か所	324	49	36	0	8	28
1月14日～30日 15か所	434	51	41	0	28	13
2月1日～20日 1か所	20	4	4	0	2	2
計	778	104	81	0	38	43

東京都内では2月20日現在、**A香港型ウイルス137件**、**B型ウイルス79件**がPCR法で検出されています。Aソ連型は検出されていません。

また、2月20日現在、30件の集団発生（学級閉鎖）の検体が衛生研究所に搬入されており、そのうち**15集団からはA香港型**が、**18集団からはB型**がPCR法で検出されています。

第5週～第7週とB型検出の割合が高くなってきています。（左表参照）

#### 【インフルエンザ相談ホットライン】

国立感染症研究所感染症情報センター

開設：平成15年3月28日まで

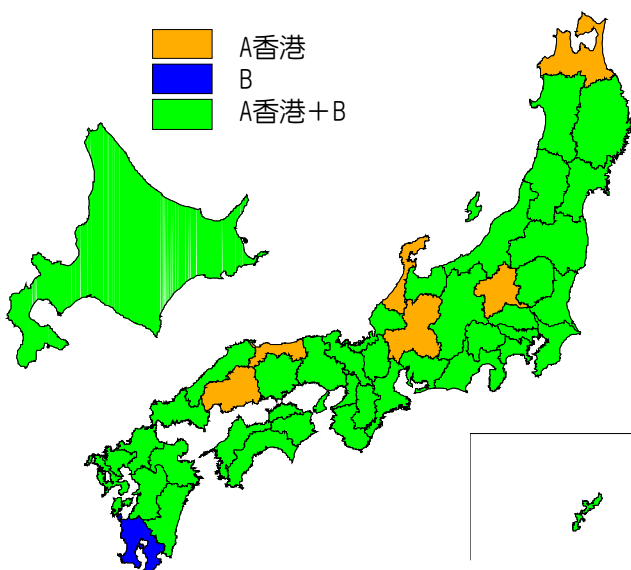
月曜日～金曜日（祝日除く）

9:00～17:00

電話：03-5285-1231 FAX：03-5285-1233

E-mail：influenza@nih.go.jp

### 4 全国の検査情報



#### お知らせ

前号で兵庫県からAソ連型が検出されたと記載しましたが、兵庫県から訂正（Aソ連型の検出はなし）があったと国から連絡を受けました。

#### インフルエンザの予防には

- ・できるだけ、人混みは避けましょう。
- ・外出時にはマスクを利用し、帰宅時にはうがい、手洗いを忘れずに。
- ・室内では加湿器などを使って、適度な湿度を保ちましょう。
- ・バランスよく栄養をとりましょう。
- ・疲労や睡眠不足には注意しましょう。

2月19日現在A香港型の検出が鹿児島県を除く全ての都道府県から報告されています。また全国各地からB型の検出が報告されています。（左地図参照）

但し、今季ワクチン株から大きく変異したウイルス検出の報告は今のところありません。

#### インフルエンザにかかったら

- ・単なるかぜと軽く考えず、早めに医療機関で受診し、治療を受けましょう。
- ・部屋の湿度を保ちましょう。
- ・安静と休養が重要です。睡眠は十分に。
- ・水分は十分に補給しましょう。

#### 東京都インフルエンザ情報

編集・発行

東京都立衛生研究所

微生物部疫学情報室

微生物部ウイルス研究科

多摩支所微生物研究科

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

URL: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



古紙配合率70%再生紙を使用しています